

# バイオインフォマティクス人材育成講座

要申込  
受講費  
無料

特別講義

## 「バイオデータベースの構築と活用」

バイオインフォマティクスとデータサイエンスは密接に関わっていますが、そこには解析されるデータと解析結果を解釈するための知識の存在が不可欠です。それらを支えるのがデータベースであり、文献ですが、世界中で無数に開発されているデータベースを組み合わせ活用し、さらに文献にある知識と結びつけるのは容易ではありません。本講義では、データベースを組み合わせ活用するための仕組みを中心にバイオデータベース構築と活用例について概説します。



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構  
データサイエンス共同利用基盤施設  
ライフサイエンス統合データベースセンター  
教授

五斗進 先生

【ご略歴】1994年九州大学工学研究科情報工学専攻博士課程修了。博士（工学）。同年より京都大学化学研究所助手。同准教授を経て、2017年より情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設ライフサイエンス統合データベースセンター（DBCLS）教授。京都大学では、データベースの関係を集めたLinkDBやゲノムとパスウェイのデータベースKEGGの開発に従事。DBCLSではデータベース統合のための基盤技術開発やプロテオーム統合データベースの開発などに従事。

2024年 6月8日(土)  
10:00~12:00

日時

配信方法

ライブ配信・オンデマンド

受講お申し込みは  
こちらから

申込フォームまたはQRコードから受講お申し込みください。

<https://forms.office.com/r/p7CF4GUNtX>



中級コース

LIVE  
オンデマンド

中級コースでは、バイオインフォマティクス・データサイエンスに関連した事例を紹介しながら、具体的に研究やビジネスにどのように活用・実践されているか等の知識を身につけ、データ解析や活用の応用範囲を広げます。

	日程	講義タイトル
特別講義	6月8日(土) 10:00~12:00	バイオデータベースの構築と活用
第1回	9月7日(土) 10:00~12:00	講義内容調整中
第2回	9月14日(土) 10:00~12:00	バイオインフォマティクスを基盤としたヒト腸内細菌叢の解析事例の紹介
第3回	9月21日(土) 10:00~12:00	講義内容調整中